

技術・家庭科（技術分野）の学習について（第2学年）

1 技術・家庭科(技術分野)の目標

- 生活や社会で利用されている材料と加工、生物育成、エネルギー変換、情報等の技術についての基礎的な理解と技能及び、技術と生活や社会とのかかわりの理解を養う。
- 生活や社会の中から技術にかかわる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 学習計画

1学期	2学期	3学期
<ul style="list-style-type: none">エネルギーについて電気と運動の利用機構	<ul style="list-style-type: none">電子部品の役割と特徴回路設計・実験ブレッドボードを活用した歩行ロボットの製作	<ul style="list-style-type: none">コンピュータと情報の表現と伝達セキュリティと情報モラル

3 評価の観点 評価の資料

観 点	内 容
知識及び技能	生活や技術に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、生活と技術との関わりについて理解する（定期テスト等）。 生活に必要な基礎的・基本的な技能を身に付ける（作品、実技テスト等）。
思考力、判断力、表現力	生活について見直し、問題課題を見つけ、その課題を解決できる力を身につける（製作における問題解決能力、振り返りシート等）。
主体的に学習に取り組む態度	進んで情報の技術の技術と関わり、主体的に技術を理解し、技能を身に付けようとする（技術の教科の関心・意欲・態度、振り返りシート等）。